

キャンパスクリーンウィークを実施

大学構内環境美化運動「キャンパスクリーンウィーク」が12月15日（月）から19日（金）まで、全学の教職員及び学生の協力を得て実施されました。

これは、環境保全に対する関心を高めるために、6月と12月の環境月間に平成元年から年2回実施しているもので、名古屋大学も名古屋市の一構成員として境界の外周清掃も併せて行い、環境美化に努めています。

本部事務局では、12月17日（水）の午後、折からの寒気の到来により寒風吹きすさぶ中、竹下事務局長、小松施設管理部長をはじめとする約130名の参加者が、東山キャンパス構内及び周辺の市道に分かれて、空き缶、紙くず、可燃・不燃ごみ、不要なビラ等の撤去等の作業を行いました。

平成23年に変更された名古屋市のごみ分別区分が浸透してきたこともあり、参加者の分別意識がより高くなってきています。

本学では、今後も年2回のキャンパスクリーン（屋外清掃）を実施することにより、「ゴミのないきれいなキャンパス」を目指していきます。

・事前説明を受ける職員



・構内の清掃をする職員

